

区分・種別	重要文化財(彫刻)		
名 称	もくぞうしゃかによらいざぞう 木造釈迦如来坐像 1躯		
所 在 地	松山市南江戸		
所 有 者	大宝寺	管 理 団 体	
指定年月日	明治34年3月27日		
解 説	この坐像は、国宝大宝寺本堂に安置されている。像高83.6cm、一木造で、秀でた眉、高い螺髪^{らっぽう}、切れ長の目、わずかに微笑を含む口元、豊かな体軀、どっしりと跏趺^{ふざ}した姿など、前代の手法を踏襲した藤原時代初期の作とみられる優品である。		

